

価値は意味から、意味は関係性から生まれる



構想設計革新イニシアティブ

# 第3回

# 構想設計革新イニシアティブ シンポジウム

## TV中継サテライト@宮城会場

**入場無料**

### ■日時

2019年  
2月7日(木)  
13:00~17:30

### ■TV中継サテライト会場

産業技術総合研究所  
東北センター OSL棟

サテライト会場の案内、参加申込みは裏面をご覧ください。

### ■本会場

東京大学・本郷キャンパス  
福武ホールB2F 福武ラーニングシアター  
本会場への参加申込みは誌面最下段をご覧ください。

### ■キーノートスピーチ

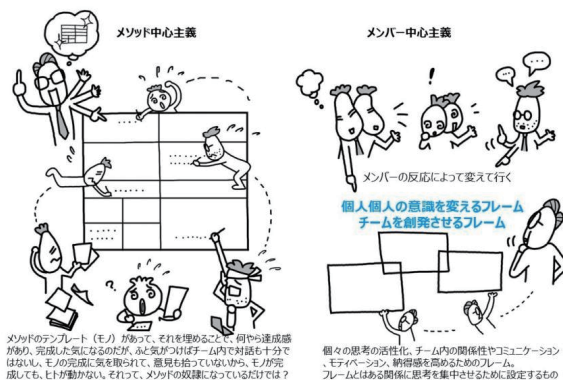
「経営デザインとは一デザインに求められる役割」  
ヤマハ発動機株式会社 執行役員 デザイン本部長  
長屋 明浩 氏

## 縦割り組織を超える協業加速の「仕掛け」 手法と道具でどこまで変われるか？

～顧客起点と技術起点、デザイナーと技術者、開発上流と下流、ものづくりの川下と川上～

### メソッド中心主義からメンバー中心主義へ

啓蒙書を読んだけど、組織で展開出来ない。状況感を持って具体的に動けない。そのような経験はありませんか？  
リーダーの役目は正しい問いを出す事。わかったようでわからない。正しいって何？何が正しい？誰にとって正しい？始めから正しいってわかるもの？  
これらに何らかのヒントを得てもらうことを目指したシンポジウムです。



主催：国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
共催：国立大学法人 東京大学 人工物工学研究センター  
参加費：無料(交流会費は別途)

本会場に参加申込みをご希望の方はこちらから  
本シンポジウム参加ご希望の方は、下記ホームページよりお申込みください。  
<https://tide-2019feb07.peatix.com>



# 構想設計革新イニシアティブとは？

対象者：「デザイン(企画)で競争力があり、販売力のある企業を目指したい」、「ものづくりの技術的優位性を市場競争力の優位性に繋げたい」、「顧客価値の高い製品・システムの開発をしたい」、「キーとなる構想設計を起点に、技術革新に留まらず、構想設計に関わる意識・行動の革新、デザイナーと工学屋のコラボの革新、世代間コラボ/地域共創などの流れの革新のきっかけとしたい」と思われている方、及びその周辺の方々(上司等)  
メリット：「問題が自社だけではなくと分かり外と繋がる」、「共通的方法論の把握により立ち位置が具体的になる」、「組織を超えた同志の顔が見える」など



構想設計革新イニシアティブ

## ■プログラム

- 13:00 - 13:15 開会挨拶  
国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
上席イノベーションコーディネータ 黒島 光昭
- 13:15 - 14:30 **【キーノートスピーチ】**  
「経営デザインとはーデザインに求められる役割」  
ヤマハ発動機株式会社 執行役員  
デザイン本部本部長 長屋 明浩
- 14:30 - 15:00 **【デザインブレインマッピング (DBM) の活用】**  
「リコーでの技術ナレッジ可視化の試み」  
株式会社リコー リコー技術研究所 及川 研
- 15:00 - 15:30 **【構想設計の道具の活用】**  
「ユーザー主導のオフィス空間設計」  
鹿島建設株式会社建築設計本部  
グループリーダー 田中 重良・宮本 礼・下田 志保
- 15:30 - 16:00 **【DBMワークショップの活用】**  
「企業との実証事例のご紹介」  
産業技術総合研究所 総括研究主幹 手塚 明
- 16:00 - 16:10 休憩
- 16:10 - 17:10 **【パネルディスカッション】**  
「人と組織を動かす広義のデザイン」  
司会 産業技術総合研究所 手塚 明  
パネラー:ヤマハ発動機株式会社 長屋 明浩、  
株式会社リコー 園田 徹也、山形県 大場 智博、  
鹿島建設株式会社 田中 重良
- 17:10 - 17:30 今後の活動及び質疑応答  
産業技術総合研究所 手塚 明、  
研究グループ長 古川 慈之

## ■概要

### 【キーノートスピーチ】

「経営デザインとはーデザインに求められる役割」  
企業においてデザインに求められる本質とは？デザインが果たす役割はもはや製品デザインだけにとどまりません。デザインのやり方そのものをデザインすることで、人の行動をも変化させます。デザイン本部が主導する開発プロセスにおける新しい取り組みや、技術者との協業活動を通じ、社内の意識をいかに変革してきたか、デザイン本部が果たしている様々な役割、成果についてご紹介いたします。

### 【デザインブレインマッピング (DBM) の活用】

「リコーでの技術ナレッジ可視化の試み」  
弊社は産総研より2014-2016年度にかけてSIP(戦略的イノベーション創造プログラム)「革新的設計生産技術」の再委託を受け、デザインブレインマッピングツール(DBM)を用いて設計分野の技術ナレッジを可視化する提案手法の効果検証を行いました。本講演ではその結果と、DBM活用に向けて想定される企業内の課題について発表します。

### 【構想設計の道具の活用】

「ユーザー主導のオフィス空間設計」  
構想設計の道具を用いたオフィスのコミュニケーションスペース計画の事例を紹介いたします。検討の最初段階でユーザーと設計者が目指すべきコトを議論し新しいタイプの空間イメージを共有していく過程を報告します。

### 【DBMワークショップの活用】

「企業との実証事例のご紹介」  
2008年より、リーダーとチームメンバーとの関係性、モノとヒトとの関係性、モノとモノとの関係性等、「関係性」に着目した対話や協業を促す環境＝デザインブレインマッピング(手法と道具)を開発しています。企画側と実施側の意思の疎通、部署間連携、上司・部下/若手・ベテランのコミュニケーション、技術起点と顧客起点の融合に効果があった企業との実証事例フレームについて、そのポテンシャルをご紹介します。

## TV中継サテライト@宮城会場参加申込みについて

「企業名/役職/参加者名/住所連絡先」を明記の上、メールにてお申込みください。

mail : [t-koho-ml@aist.go.jp](mailto:t-koho-ml@aist.go.jp)

締切：2月1日(金) (※後も人数に余裕があり次第受付します)

会場：産業技術総合研究所 東北センター OSL棟 2階 セミナー室 1, 2

産業技術総合研究所東北センター(川上、佐藤)

宮城県仙台市宮城野区苦竹4-2-1

電話:022-237-5218 FAX:022-231-1263

